

事業者温室効果ガス削減報告書概要(第一計画期間) 第3年度分

1 事業者の概要

事業者の名称	盛運輸株式会社		
市内代表事業所の名称	盛運輸 仙台営業所		
市内代表事業所の所在地	仙台市宮城野区蒲生字東屋敷添33-5(仮換地住所)		
主たる事業	道路貨物運送業		
事業者の該当要件		条例第2条第5号イに該当する特定事業者	
		条例第2条第5号ロに該当する特定事業者	
	○	条例第2条第5号ハに該当する特定事業者	
		条例第15条第1項に該当する一般事業者	
温室効果ガス排出抑制のための基本方針	<p>当社は地球環境の保全に貢献するため、次の基本方針にもとづきトラック燃料使用量の削減に取り組みます。</p> <p><b>【基本方針】</b></p> <p>1. 事業活動(運送)のトラック運行において、アイドリングストップを推奨し燃料削減を目指します。</p> <p>2. 事業活動(運送)のトラック運行において、走行時のエンジン回転数を2,000回転以下に抑えるエコ運転による燃費向上を目指します。</p>		

2 温室効果ガスの排出状況等

温室効果ガスの削減目標	基準年度	2019 年度	基準排出量	8,512 t-CO <sub>2</sub>	基準原単位	0.6387	
		目標年度	2022 年度	目標排出量	8,084 t-CO <sub>2</sub>	目標原単位	0.6066
			削減率	5.02 %	削減率	5.02 %	
温室効果ガスの排出状況	第1年度	2020 年度	排出量	8,750 t-CO <sub>2</sub>	排出原単位	0.6697	
			削減率	-2.80 %	削減率	-4.86 %	
		排出量等の増減理由					
		コロナ対策のため、①荷主の積み込み、荷下ろし時の物流拠点等で待機時間(密を避けるため)が多々発生(冷凍品の輸配送が殆どため、この間エンジンを止められない)、②運行上の休憩をトラック(車内)で取るよう(密を避けるため)になり、アイドリング時間が増加したため、排出量が増加した。					
	第2年度	2021 年度	排出量	8,635 t-CO <sub>2</sub>	排出原単位	0.5972	
			削減率	-1.45 %	削減率	6.49 %	
	排出量等の増減理由						
	昨年度同様、コロナ対策のため、①荷主の積み込み、荷下ろし時の物流拠点等で待機時間(密を避けるため)が多々発生(冷凍品の輸配送が殆どため、この間エンジンを止められない)、②運行上の休憩をトラック(車内)で取るよう(密を避けるため)になったが、そのなかでも(車両台数が増加したが)③乗務員の燃料高騰の意識改善から、④エコ運転、アイドリング時間を低減等できたため、排出量が減少した。						
第3年度	2022 年度	排出量	8,726 t-CO <sub>2</sub>	排出原単位	0.5968		
		削減率	-2.52 %	削減率	6.56 %		
	排出量等の増減理由						
	①荷主の積み込み、荷下ろし時の物流拠点等でエンジン稼働のまま待機時間が多々発生(荷主の事情)した。②猛暑のため運行上の休憩をトラック(アイドリング)で取る時間が増えた。以上の要因から排出量が増加、削減目標値を達成できなかった。						

3 温室効果ガスの排出抑制に関する取組

基本対策の実施状況	基準年度	36 %	目標年度	91 %
	第1年度	73 %	実施状況の説明等	①エコドライブに関する研修、教育は月間の乗務員教育の一環で実施してる。②エコドライブ10の進めをチェックシートで実践しているが、記録はしていなかった。
	第2年度	73 %	実施状況の説明等	①燃料低減の指導を適宜に実施。②エコドライブ10の進めをチェックシートで実践、記録した。
	第3年度	73 %	実施状況の説明等	①エコドライブに関する研修、教育は月間の乗務員教育の一環で実施してる。②エコドライブ10の進めをチェックシートで実践しているが、記録はしていなかった。
選択対策の実施状況	項目			実施状況
	エネルギー使用量の見える化(分計による課題発見)			実施済
	環境性能の良い車両の計画的導入			未実施
	エコドライブの管理			実施済
その他の対策の実施状況	項目	具体的な取組内容		実施状況
	その他地球温暖化を防止する対策の実施	運行に必要外(エアコンの使用、スマホ電源、テレビ電源とるため)のアイドリングストップを徹底させます。		実施済
	その他地球温暖化を防止する対策の実施	事務所移転時にLED照明設備を導入		実施済
	その他地球温暖化を防止する対策の実施	事務所移転時に高効率空調設備を導入		未実施